

県内の農業法人で初！

「クレド」の導入を支援！

アグリビジネスステージアップ支援事業

公益財団法人みやぎ産業振興機構では、アグリビジネスステージアップ支援事業において、東松島市できゅうり・トマトを生産する㈱イグナルファームと大郷町でミニトマトを生産する㈱イグナルファーム大郷の「クレド」導入への取組を支援しました。農業法人では全国でも珍しく、宮城県では初めての事例となります。

■「クレド」とは

「クレド」とは、会社の経営理念を、社員の行動指針として簡潔に文章化しカードにしたものです。ザ・リッツ・カールトンや伊那食品工業㈱（本社：長野県）などが導入しています。

「クレド」の導入は、社員が会社の価値観を共有することを目的としています。社員は「クレド」を常に携行し、自分の行動に照らし合わせ、業務の中で判断に迷ったら「クレド」を開いてどうすべきかを自ら考え、上司の指示を都度仰がなくても行動できるようになります。

■「クレド」の作成から導入まで

「自律型組織」を目指し、そのためのツールとして、両社共通の「クレド」を令和2年9月より作り始めました。

＜ポイント1＞経営者ではなく社員が作る！

各社から選抜された4名による「クレドプロジェクトチーム」を結成。うち2名はあえて女性を選出。社員一丸となってプロジェクト開始！

＜ポイント2＞会社を取り巻く人たちの意見を反映！

ステークホルダー（お客様・取引先・地域・社員）が満足する会社となるための取組や、「5S」、「SDGs」の7つの目標も取り入れました。

＜ポイント3＞作って終わりじゃない！今後の運用が肝！

令和3年4月より本格運用開始。プロジェクトチームのメンバーを中心に、朝礼や月例会議、研修会などあらゆる場面で社員への浸透を図っていきます。



作成した「クレド」

■㈱イグナルファーム及び㈱イグナルファーム大郷の概要

平成23年12月、東日本大震災で被災した若手農業者4名が㈱イグナルファームを設立。

法人名は、会社に関わる人や地域全体が「イグナル（良くなる）」ことを願って命名した。

社は「『共にイグナル』～お客様と共に。地域と共に。自然と共に。従業員と共に。会社と共に。～」。

経営規模は、きゅうり120a、イチゴ140a。構成員は役員4名、社員10名、パートタイマー23名、外国人研修生6名。

平成26年2月は、「農業版ISO」とも呼ばれる「グローバルGAP」の認証を取得し、安全で品質の良い農産物の生産に一貫して取り組んでいる。

平成27年10月には同社が100%出資した㈱イグナルファーム大郷を設立。

経営規模はミニトマト100a。構成員は役員4名、社員4名、パートタイマー13名。